学校番号	３０３２Ｂ

令和８年度　専家庭

教科	専家庭	科目	保育基礎	単位数	１単位	年次	２年次前期
使用教科書	保育基礎　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習を通して、子どもの衣服や生活と養護を確認していきます。積極的に取り組みましょう。
・親子交流実習・施設見学を通して、幼児の観察を行います。意欲的に参加しましょう。

2　学習の到達目標

・保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化に関する知識や技能を習得する
・保育や子育て支援に関する課題やその解決策について考え、表現できる
・保育や子育て支援に寄与する資質・能力を主体的に身に付けられるよう努力することができる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	発達と乳幼児期の意義・子どもの精神発達	学ぶにあたって 子どもの発達 親子交流実習	a: 実習を通して、発達の観点から子どもの行動などを観察する、子ども特有の行動パターンや感情表出などを推察するなど、子どもを養護するために必要な技能を身に付けている。 子どもの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。健康で安全に生活するために必要な知識を身に付けている。 b: 子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考えを深めている。 c: 発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。子どもの生活に関心をもち、理解しようとしている。	実習・考査	実習・実習レポート	ワークシート・実習
	子どもの生活と養護	子どもの食事	a: 乳幼児期の食生活の特徴を理解している。 b: 乳汁栄養から離乳食、幼児食へと進む発育・発達に応じた食事のあり方についてまとめたり、発表したりしている。乳幼児期の食生活の特徴を把握し、献立を立案することができる。 c: 子どもの食生活について、さまざまな課題や問題点を考えようとしている。	実習・考査	発表・レポート	ワークシート・実習

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度